

研究タイトル：

有機合成化学を基盤とした機能性材料、医薬品の合成研究

氏名： 亀井 稔之 / TOSHIYUKI Kamei E-mail: kamei@chem.nara-k.ac.jp

職名： 准教授 学位： 博士(工学)

所属学会・協会： アメリカ化学会、日本化学会、有機合成化学協会、ヨウ素学会

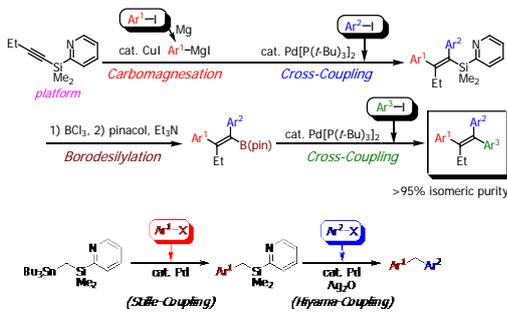
キーワード： 有機合成、機能性材料、医薬品中間体

技術相談
提供可能技術： ・機能性材料、高分子、医薬品中間体などの有機化合物に関する合成、分離、分析

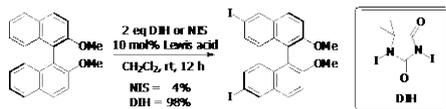


研究内容： 欲しい化合物を効率的につくる。新しい化合物を合成してその機能を調べる。

ピリジル基の特性を生かした分子変換反応



芳香族化合物のハロゲン化反応



有機合成化学は、化学工業の根幹をなす学問である。

有機合成を基礎として、様々な材料(有機EL、有機薄膜太陽電池など)、あるいは医薬品などが合成されています。当研究室では、これまでに報告例のない、新しい機能を持つ化合物の合成と、その効率的合成法の開発に関する研究を行っています。

その中でも、有機金属化合物を用いた反応に興味があり、それを用いた反応、反応を用いた化合物の合成を行っています。

金属触媒は工業的にも用いられており、古典有機化学では達成し得ない様々な化合物が合成可能となります。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

400MHz 核磁気共鳴装置	
LC-MS	